

別表1 法第28条第2項又は第3項に基づき換気設備が設けられた居室（換気設備を設けるべき調理室等を除く。）の換気状況評価表（A4）

測定年月日	測定機器 メーカー名	型式番号等			
階	室名	必要換気量（m ³ /h）	換気方式	換気設備機種名*注1	換気状況の評価*注2
			一種 ・ 二種 ・ 三種		指摘なし・要是正
			一種 ・ 二種 ・ 三種		指摘なし・要是正
			一種 ・ 二種 ・ 三種		指摘なし・要是正
			一種 ・ 二種 ・ 三種		指摘なし・要是正
			一種 ・ 二種 ・ 三種		指摘なし・要是正
			一種 ・ 二種 ・ 三種		指摘なし・要是正
			一種 ・ 二種 ・ 三種		指摘なし・要是正
			一種 ・ 二種 ・ 三種		指摘なし・要是正
			一種 ・ 二種 ・ 三種		指摘なし・要是正
			一種 ・ 二種 ・ 三種		指摘なし・要是正

注1) 室ごとに単独の換気扇がある場合など、換気設備が特定されている場合は、その名称を記入する。
注2) 「換気状況の評価」欄には、外気取り入れ口における風量測定を行うことが最も確実であり、換気量測定を行った場合は、その測定結果を記入する。これに代わる方法として、各室の二酸化炭素濃度の測定を行い、居住者数と測定値に矛盾がないか確認する等を行った場合には、その結果を記入する。

別表2 換気設備を設けるべき調理室等の換気風量測定表（A 4）

測定年月日			測定機器 メーカー名			型式番号等		
室番（場所）	使用器具	発熱量(kW)	換気型式(n)	必要換気量（m ³ /h）	開口面積（m ² ）	測定風速*注（m/s）	測定風量（m ³ /h）	判 定
			40・30・20・2					指摘なし・要是正
			40・30・20・2					指摘なし・要是正
			40・30・20・2					指摘なし・要是正
			40・30・20・2					指摘なし・要是正
			40・30・20・2					指摘なし・要是正
			40・30・20・2					指摘なし・要是正
			40・30・20・2					指摘なし・要是正
			40・30・20・2					指摘なし・要是正
			40・30・20・2					指摘なし・要是正
			40・30・20・2					指摘なし・要是正

注) 「測定風速」欄には、原則として測定した箇所の平均風速を記入する。

測定年月日		測定機器 メーカー名		型式番号等	
1	排煙機系統(機器番号等)		排煙機銘板表示		排煙機の規定風量
			最大防煙区画面積		$\text{m}^2 \times 1 \text{ or } 2 = \text{m}^3/\text{min}$

2	排煙口						判定
	階	室名	排煙口面積 (㎡)	測定風速 (m/s)*注2)	測定風量 (㎡/min)	規定風量 (㎡/min)	
							指摘なし・要是正
							指摘なし・要是正
							指摘なし・要是正
							指摘なし・要是正

3	排 煙 機					判 定
	排煙機 (番号等)	煙排出口面積 (㎡)	測定風速 (m/s)*注2)	測定風量 (㎥/min)	規定風量 (㎥/min)	
						指摘なし・要是正

4	直結エンジン（内燃エンジン）の有無	予備電源又は直結エンジン切り替え
	有 ・ 無	指摘なし・要是正

5	排煙系統図 (排煙機と排煙口の対応関係がわかる図を記入すること)
---	-------------------------------------

注2) 「測定風速」欄には、原則として測定した箇所の平均風速を記入する。

注3) 自主点検等による排煙風量測定記録がある場合は、実施時期、測定方法、測定値等が適正であるか否かを判定すること。

別表 3-2 排煙風量測定記録表 (A 4) 給気式 (特殊な構造の排煙設備)

測定年月日		測定機器 メーカー名		型式番号等	
1	給気送風機系統 (機器番号等)		給気送風機銘板表示	給気送風機の性能 (風量)	
				m ³ /min	

2	排 煙 口						判 定
	階	室 名	排煙口面積 (m ²)	測定風速 (m/s)*注1)	測定風量 (m ³ /min)	規定風量 (m ³ /min)	
							指摘なし・要是正
							指摘なし・要是正

3	給 気 送 風 機				判 定
	吸込口面積 (m ²)		測定風速 (m/s)*注1)	測定風量 (m ³ /min)	
					指摘なし・要是正

4	直結エンジン (内燃エンジン) の有無	予備電源又は直結エンジン 切り替え
	有 ・ 無	指摘なし・要是正

5	排煙系統図 (給気送風機と排煙口の対応関係がわかる図を記入すること)

注1) 「測定風速」欄には、原則として測定した箇所の平均風速を記入する。

注2) 自主点検等による排煙風量測定記録がある場合は、実施時期、測定方法、測定値等が適正であるか否かを判定すること。

別表 3－3 排煙風量測定記録表（A 4） 加圧式（加圧防排煙設備）

測定年月日	測定機器 メーカー名	型式番号等
1	給気送風機系統(機器番号等)	給気送風機銘板表示
		給気送風機の性能(風量)
		m ³ /min

2	遮煙開口部・空気逃し口							判 定
	階	室 名	空気逃し口の方式*注1)	測定排煙風速*注2 (m/s)	規定排出風速*注3 (m/s)	算定式*注3)	遮煙開口部の高さ(m)	
			1. 自然方式 ☐ 2. 機械方式 ☐ 3. 併用方式 ☐					指摘なし・要是正
			1. 自然方式 ☐ 2. 機械方式 ☐ 3. 併用方式 ☐					指摘なし・要是正
			1. 自然方式 ☐ 2. 機械方式 ☐ 3. 併用方式 ☐					指摘なし・要是正
			1. 自然方式 ☐ 2. 機械方式 ☐ 3. 併用方式 ☐					指摘なし・要是正

3	直結エンジン (内燃エンジン)の有無	予備電源又は直結エンジン 切り替え
	有 ・ 無	指摘なし・要是正

4	排煙系統図 （給気送風機と空気逃し口の対応関係がわかる図を記入すること）

- 注1) 「空気逃し口の方式」欄には、該当するチェックボックスに「レ」マークを入れる。
- 注2) 「測定排出風速」欄には、原則として測定した箇所の平均風速を記入する。
- 注3) 隣接室を区画する当該区画の仕様及び隣接室の仕様に応じて、規定排出風速Vの算定式を以下の①から③のいずれかを選択し、「算定式」欄に記入する。また、当該算定式により排出風速を算出し、「規定排出風速」欄に記入する。この場合において、Vは排出風速、Hは遮煙開口部の高さを表す。
- ① $V=2.7\sqrt{H}$ ② $V=3.3\sqrt{H}$ ③ $V=3.8\sqrt{H}$
- 注4) 自主点検等による風速測定記録がある場合は、実施時期、測定方法、測定値等が適正であるか否かを判定すること。

別表4 非常用の照明装置の照度測定表（A4）

測定年月日	測定機器 メーカー名		型式番号等	
光源の種類	最低照度の測定場所		最低照度（lx）	判定
	階	部屋・廊下等		
白熱灯				指摘なし・要是正
蛍光灯				指摘なし・要是正
LEDランプ（自動検査機能なし）				指摘なし・要是正
LEDランプ（自動検査機能あり）				指摘なし・要是正
その他（ ）				指摘なし・要是正

（別紙）

階 別	測 定 場 所	測 定 位 置 ^{*注1}	光源の種類 ^{*注2}	照度（lx） ^{*注3}	照 度（lx）
					指摘なし・要是正
					指摘なし・要是正
					指摘なし・要是正
					指摘なし・要是正
					指摘なし・要是正
					指摘なし・要是正
					指摘なし・要是正
					指摘なし・要是正
					指摘なし・要是正
					指摘なし・要是正
					指摘なし・要是正

注 1） 「測定位置」欄には、「出入口付近」、「右壁中央付近」のように明記する。

注 2） 「光源の種類」欄には、白熱灯、蛍光灯、LEDランプ（自動検査機能なし）、LEDランプ（自動検査機能あり）、その他の別及び電池内蔵のものにあっては、（内）と付す。

注 3） 「照度」欄には、自動検査機能を有していない場合は、照度の値（lx）を記入し、自動検査機能を有するものにあっては、「－」を記入する。